

みなみのひろば

MINAMI no HIROBA

<発行>

南地区コミュニティ・南公民館

連絡先 36-7341

令和3年2月20日 第446号

春の到来が待ち遠しい季節となりました

立春も過ぎ、心なしか吹く風にも温もりが感じられる頃となりました。

南公民館前庭の梅の木が今年も紅く色づき始め、春の足音が近づいてきたようです。2月18日は、二十四節気のひとつ「雨水」で、降る雪が雨に変わり、冬の間積もった雪が解けはじめて水になる時季といわれています。まだまだ朝夕の寒さの厳しい日が続くかもしれませんが、日一日と春が近づいてくることを感じる事ができるでしょう。

一方で、日常生活の自粛や飲食店の営業時間短縮など、まさに国民あげての感染拡大防止に取り組んでいてもなかなか収束に向かわない新型コロナですが、ようやくワクチン接種の方向性が見えてきました。

那須塩原市でも、来月あたりから、まずは医療従事者の皆さんなどを優先的に接種対象とし、ゆくゆくは市民全員に接種をするという計画が発表されました。ワクチンの効果がどのくらい発揮されるのか、現段階では不透明な部分もありますが、いずれにせよ、コロナ収束に向けた光が見えてきたような気がします。

とはいえ、全市民のワクチン接種完了までにはまだまだ時間を要します。ここで気を緩めることなく、皆さんもこれまでの生活で得た知識と経験を活かし、引き続き「感染しない・感染させない」ための取り組みをお願いいたします。

春が近づくとということは、間もなく今年度も終わりの時期を迎えるということ。コロナの影響で様々な社会活動が制限された令和2年度でしたが、この一年間を改めて見直し、反省すべきところはしっかりと反省して新年度につなげて行くではありませんか。南地区コミュニティも、南公民館も、このコロナ禍で改めて地域活動のあるべき姿を学びました。来る令和3年度は、これまでの常識にとらわれることなく、アフターコロナを見据えた生涯学習や地域活動のあり方を考えながら事業を展開してまいります。皆さんも是非御協力くださるようお願いいたします。



【自治会について考えてみよう】

誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざして

間もなく年度末。各自治会でも新年度の役員改選や事業計画の立案などの準備に取り掛かっている頃でしょう。

特に今年度は新型コロナの影響もあり、自治会活動も様々な制約を受け、十分な総括もできない状況にあるものと思います。

一方で、このような状況だからこそ、自治会活動の必要性やありがたさを再認識する場面もあったのではないのでしょうか。

以前の記事で「自治会は最も身近な社会保障制度」ということを述べましたが、今だからこそ、その重要性を考えてみましょう。

子どもや高齢者の見守り、防犯や防災、環境美化ばかりでなく、困ったときの助け合いができる関係性の構築といった誰もが安

心して暮らせる地域づくりを担うのが自治会の大きな役割だと考えます。加入率を高め、新年度の自治会活動が更に充実することを期待したいものです。



令和2年度南コミ福祉部・地域振興部事業

ジュニアリーダー講習会 ウエスカット作業



は中止といたしました

例年、南小学校5年生を対象に、新年度に最上級生となる立派なリーダーを育成することを目的に実施してきたジュニアリーダー講習会ですが、新型コロナの感染拡大を受け、大変残念ですが今年度の実施を見合わせることにいたしました。

また、2月21日に予定していた福祉活動のウエスカット作業も、諸般の事情で中止といたします。

多くの方にウエスの材料を寄贈していただきましたが、それらは全て来年度に繰り越しをし、次回の社協への寄付に合わせて活用させていただきますので、どうかよろしく御理解ください。

今回中止とする事業は、いずれも令和3年度には再開する予定です。関係者の皆さんの引き続きの御協力をどうぞよろしくお願いいたします。



Citrus
Ribbon
PROJECT

地域全体に広げていきましょう！「シトラスリボンプロジェクト」

新型コロナ感染者や医療従事者への差別や誹謗中傷をなくし、やさしさにあふれる「まち」をみんなで作っていきましょう！南公民館では、有志の方から寄贈いただいたシトラスリボンを配付しています。是非皆さんもリボンを身に付けて、この運動を広めてください。

毎日の「おやつ」について考えてみました (少年教室「つばめのこ」)

少年教室「つばめのこ」の本年度最終回の講座を、去る1月7日に実施しました。今回は、カルビー(株)東日本営業本部の健康管理士指導員、森田孝枝氏を講師にお招きし、毎日食べるおやつを通した食育についてお話をいただきました。

当日は、学校も冬休みということで多くの学級生が出席し、「3密」に注意しながら各学年混成のグループに分かれて楽しく学習することができました。



講座では、さまざまなお菓子や飲み物などの中からいろいろな組合せを作って、それが実際にどのくらいのカロリー量があるのかを調べたり、みんな大好きなポテトチップスの塩分量を測定したりしながら、子どもたちの成長にとって適量のおやつはどの程度なのかを知ることができ、学級生たちは皆興味深く取り組んでいました。

また、塩分の代表格みたいに考えられているポテトチップスですが、実際の塩分は微量なのだそうです(だからといって食べすぎはもちろん禁物ですよ。)

毎日のおやつも、健康を考えながら、楽しく・おいしく食べたいものですね。



力を合わせて取り組みましょう!

「地域住民助け合い事業」

最近よく耳にする「持続可能な社会の構築」というフレーズ。わが国は、少子高齢化の急速な進行が問題となって久しく、人口や税収の減少によって従来の自治体主導の地域づくりが限界を迎える時期も遠くないといわれています。高齢者世帯の見守りや子どもの貧困・居場所づくりなど、地域が抱える問題を地域の力で解決できてこそ、将来にわたって持続できる社会の実現につながります。

那須塩原市では、地域の特性を生かしながら、誰もが住み慣れた場所で健康に生活を維持できるよう、各公民館区を単位に「地域住民助け合い事業」の取り組みを進めており、南地区においても、各自治会・コミュニティ・民生委員・社協・公民館などが連携して具体的な事業展開について検討をしている段階です(検討結果は随時お知らせします)。

この事業は関係者だけでなく、地域住民全員が何らかのかたちで関わりを持つことが重要ですので、是非この機会に多くの皆さんに関心を持っていただきたいと思います。

「助け合い」には支える側の人材確保が必要



いきいき百歳体操

もうしばらくお休みします

毎週金曜日に南公民館で実施している百歳体操は、新型コロナ対策の



北那須モデル黄色信号発表を受け、皆さんの安全を考慮して、現在活動をお休みさせていただいています。

再開の時期は未定ですが、再開が決まりましたら改めて「みなみのひろば」などでお知らせいたします。

それまでの間、自宅でする軽運動などを実践しながら、是非心身の健康維持に努めてくださいね。

南公民館利用サークルの皆さんへ

令和3年度の公民館定例利用につきまして、先に提出いただいた調査票をもとに日程の調整を行いました。

2月末ころから順次各団体の代表者宛てに利用決定の通知書をお送りする予定ですので、通知が届きましたら内容をよく確認していただき、来年度も引き続き公民館の適正な利用について御協力をお願いいたします。



▶2月13日の夜11時過ぎ、福島県沖を震源とする大きな地震がありました▶幸いにして甚大な人的被害はなかったものの、東北地方を中心にインフラなどが被災しました▶久しぶりの大きな揺れに10年前の大震災を思い出した方も多かったと思います▶一方で、今回の地震直後、SNSなどで卑劣なデマが拡散されました▶社会の不安が増すときデマは凶器になりかねません▶コロナ禍においてもSNSが人々の不安を煽る場面もありました▶この機に、正しい情報の取得と、デマ拡散の恐ろしさを再認識したいものです



追悼 関谷括実氏

南地区コミュニティ副会長の関谷括実氏が去る1月26日御逝去されました。

謹んで地域の皆様にお知らせするとともに心から御冥福をお祈り申し上げます。

氏は、長年二区町の自治会長を務め、並々ならぬ地域づくり・人づくりの情熱を惜しみなく自治会運営に注がれてきました。

また、南地区コミュニティでも体育文化部長や副会長を歴任され、誰からも親しまれる人柄でコミュニティをまとめ、その功績は一言で言い表せないほど実に大きなものでありました。

特に学校との連携を大切に、地域をあげて子どもたちを見守る活動についても大きな足跡を残されました。今後も氏の遺志を継いで、地域が力を合わせて住みよいまちづくりを進めていきましょう。…71歳という若さで逝去された関谷さん、今はただただ残念でなりません。

